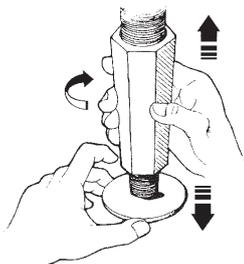
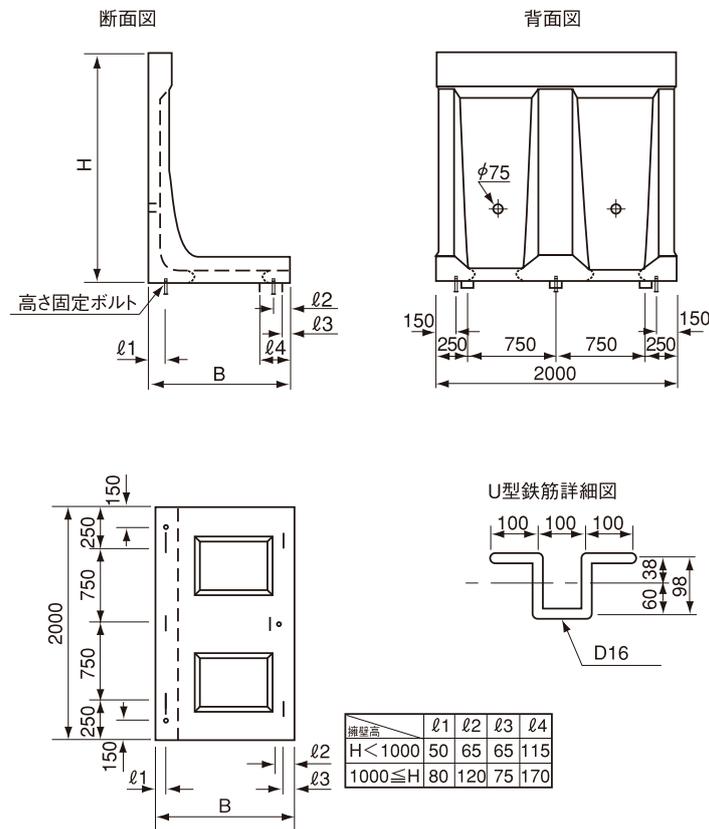

 || サンKクリア工法の特徴 ||

最近、大型のプレキャストブロックが数多く使用される様になりました。その中でも施工方法の良否により、工事の出来ばえ、仕上がり等が大きく左右されます。また、施工性・安全性についても同時に考えていかなければならない重要な問題です。そこで、これらの問題点を一つ一つ試行錯誤を繰り返しながら解決して、ここに完成しましたのが、油圧ジャッキ等を用いた施工方法「サンKクリア工法」です。

施工現場に付きものの「きつい」「汚い」「危険」の全てをクリアし、ほとんどの大型製品に適用可能な画期的工法です。

- ◎簡単施工／製品据付の高さ調整はツメ付ジャッキで行うため、女性、高齢者の方にも無理なく据付できます。
- ◎安全施工／らくピタ（高さ固定ボルト）と基礎コンクリートと一体化兼用のU型鉄筋等とで万一、ジャッキがはずれた場合でも製品にはさまれる事故を防ぐことができます。
- ◎完全一体化／製品の埋め込まれた鉄筋等で製品と基礎コンクリートが一体化され、掛かり止めの効果もあります。特にL型擁壁等では、敷均しモルタルが不用で基礎上面での滑動の心配はなくなります。
- ◎応用施工／製品が大型化するほどより機能が発揮され、パネル、階段、水路、L型擁壁等幅広く応用できます。

 || 製品図 ||

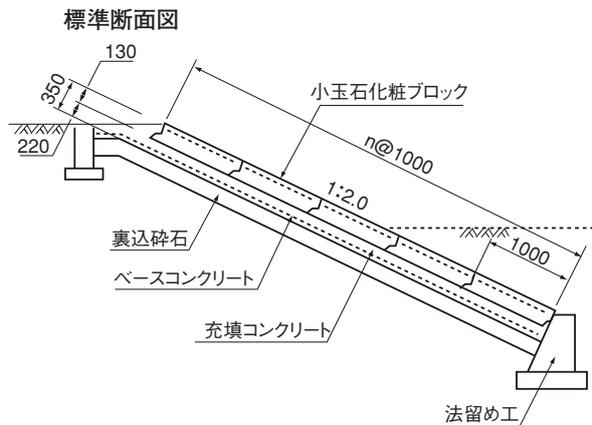
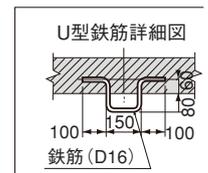
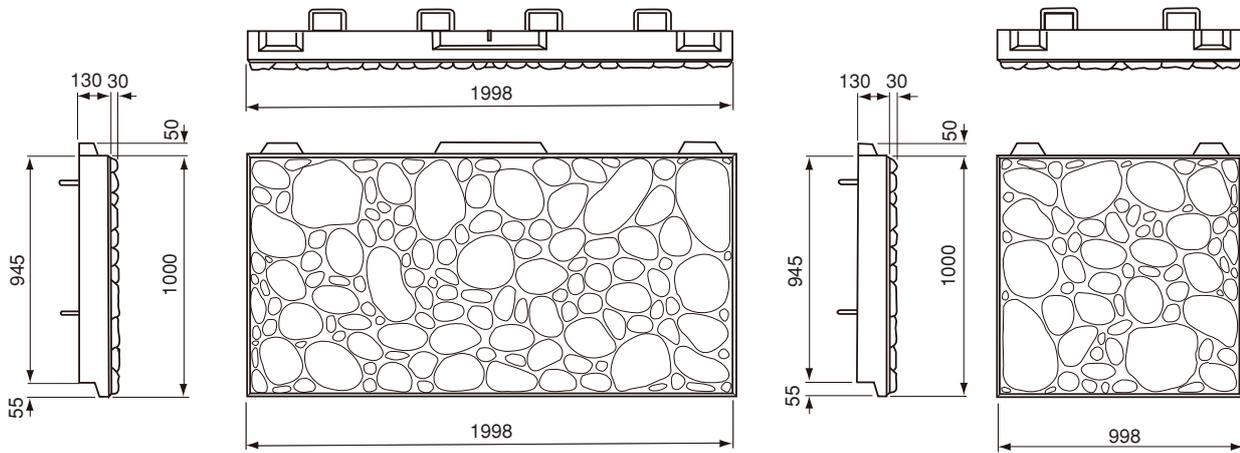


1. 製品に埋め込まれたインサートに全ネジボルトを一杯にねじ込んで下さい。(ネジを均等に引き出すため)
2. 平頭ボルト（下側）を手で固定し、ターンバックル式高ナットを右に回し、高さを調節してください。



小玉石化粧ブロック A型(参考質量:650kg)

小玉石化粧ブロック B型(参考質量:325kg)



小玉石化粧ブロックはサンKクリア工法によって施工することにより、ベースコンクリート及び充填コンクリートを必要とすることから、張ブロックタイプでありながら積ブロックとしても御利用いただけます。

尚、ベースコンクリート、充填コンクリート及びブロックを含めた厚さが35cmとした場合は以下の表に示す材料を必要とします。

勾配		参考質量 (kg)	単価 (円)
1:2.0	A型	650	
	B型	325	
1:1.5	A型	750	
	B型	375	

大型張ブロック工材料表

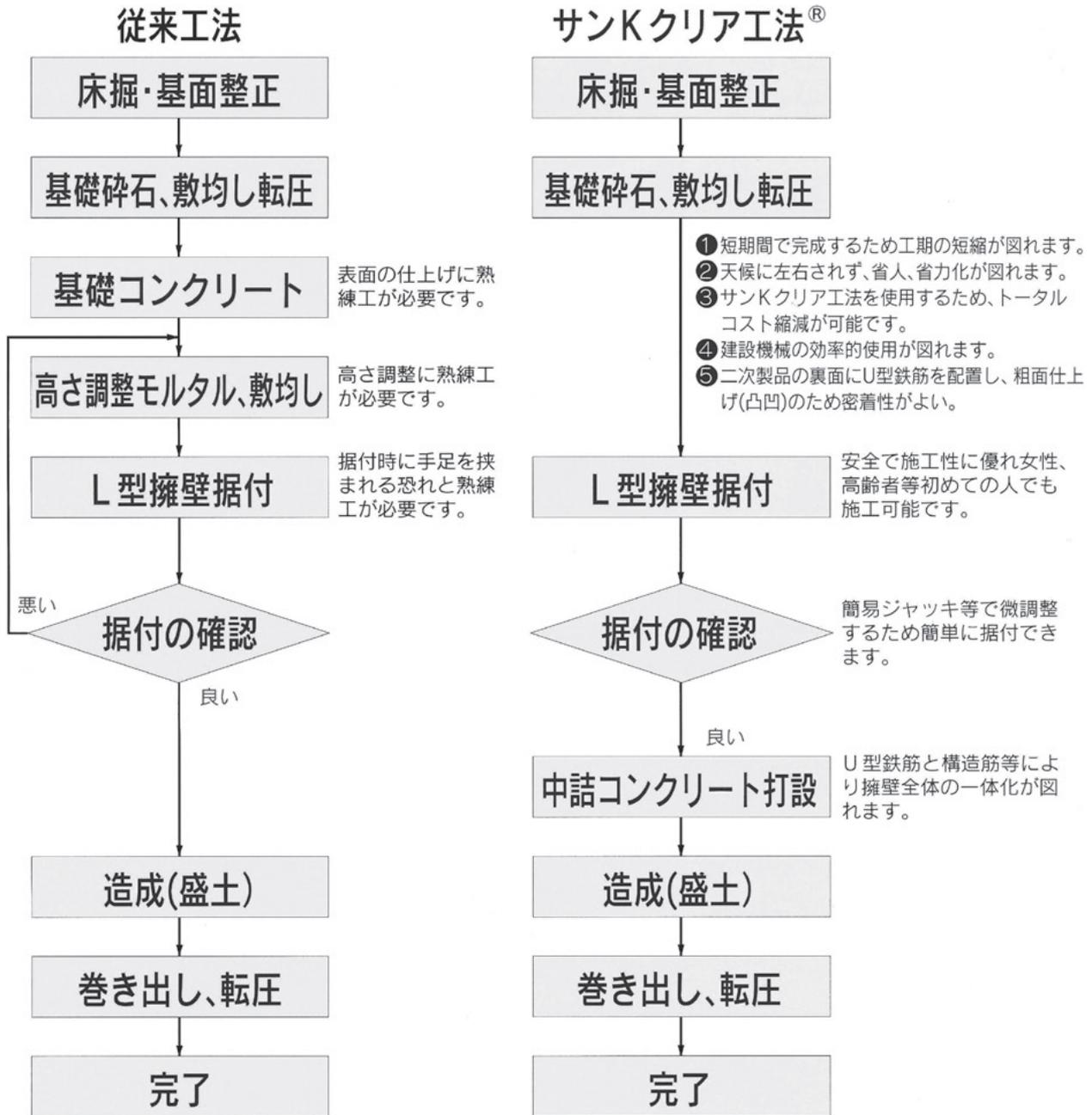
材料名	価格・仕様	単位	数量	概要
小玉石化粧ブロック:A型		枚		0.50枚/㎡
小玉石化粧ブロック:B型		枚		端部のみに使用
充填コンクリート		㎡		0.22m³/㎡
ベースコンクリート		㎡		
裏込碎石		㎡		必要に応じて
高さ固定ボルト		本		ブロック1枚につき2本使用

●サンKクリア工法に必要な工具等はレンタルいたします。

- ◆受注生産品ですので、設計段階にてご相談下さい。
- ◆価格、詳細についてはお問い合わせ下さい。

従来工法との比較

施工フローチャート(例:L型擁壁)

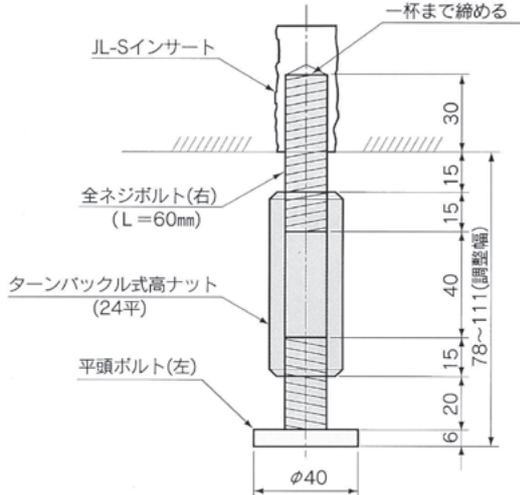


L型擁壁1日当り施工延長(参考)

	10m	30m	50m
従来工法	[Progress bar for traditional method]		
サンククリア工法	[Progress bar for sunk-clear method]		

らくピタ® (高さ固定ボルト)

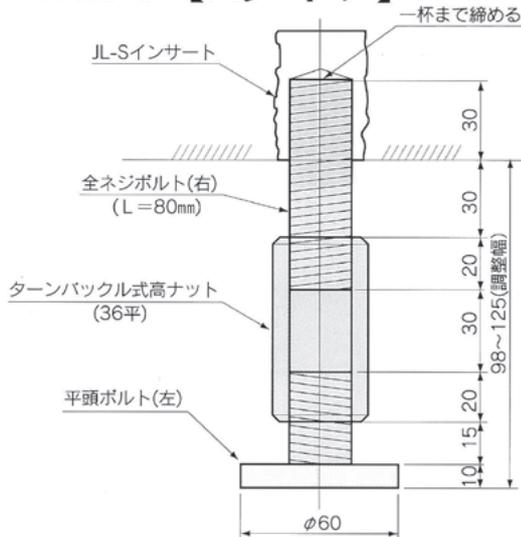
M16 【Aタイプ】



	全ネジボルト 長さ(mm)	調整幅 (mm)	最大使用荷重 (tf/本)
標準品	60	78~111	1.46
特 注 品	A-1	80	98~131
	A-2	100	118~151
	A-3	120	138~171
	A-4	140	158~191
	A-5	160	178~211

※調整幅はインサートネジ部有効長を30mmとした場合
 ※最大使用荷重はねじ込み深さを15mmとした場合

M24 【Aタイプ】



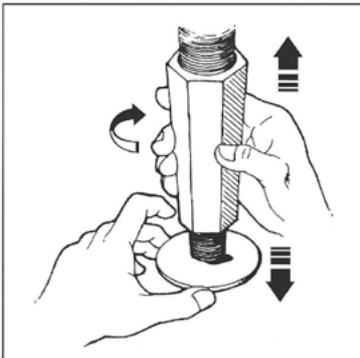
	全ネジボルト 長さ(mm)	調整幅 (mm)	最大使用荷重 (tf/本)
標準品	80	98~125	3.42
特 注 品	A-1	100	118~145
	A-2	120	138~165
	A-3	140	158~185
	A-4	160	178~205
	A-5	180	198~225

※調整幅はインサートネジ部有効長を30mmとした場合
 ※最大使用荷重はねじ込み深さを20mmとした場合

[上図は、いずれも調整幅を最大にした状態のもの]

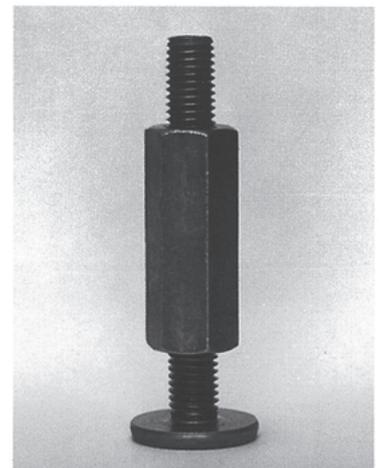
【Aタイプ】

らくピタ使用手順



1. 製品に埋め込まれたインサートに全ネジボルトを一杯にねじ込んでください。(ネジを均等に引き出すため)
2. 平頭ボルト(下側)を手で固定し、ターンバックル式高ナットを右に回し、高さを調整してください。

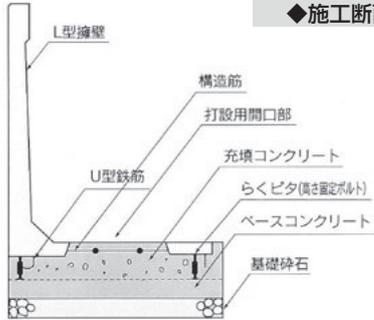
※らくピタには、Bタイプ(平頭ボルト)もございます。
 詳しくは、らくピタ取扱説明書をご覧ください。



サンKクリア工法による施工例

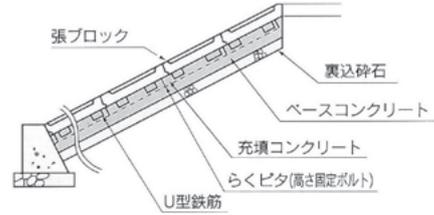
L型擁壁

◆施工断面図◆



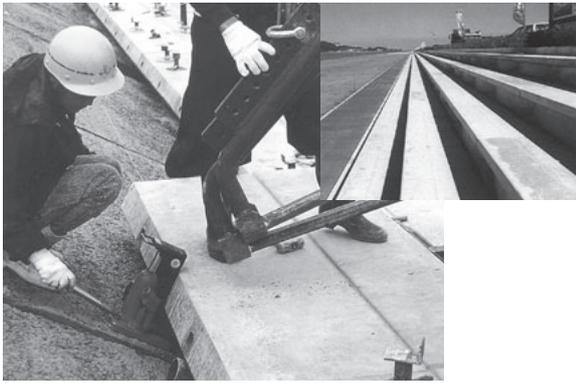
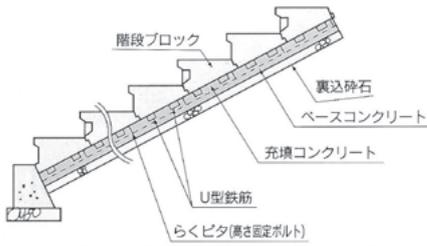
大型張ブロック

◆施工断面図◆



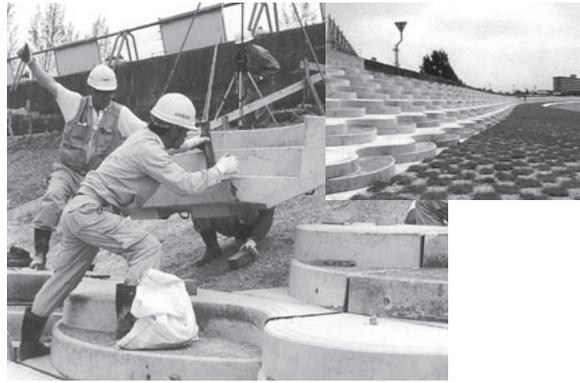
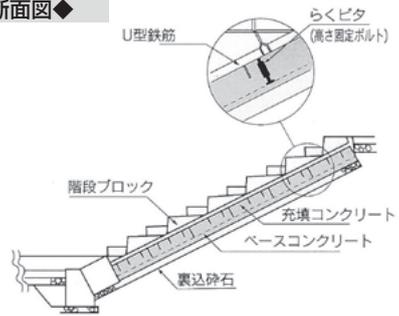
大型階段ブロック

◆施工断面図◆



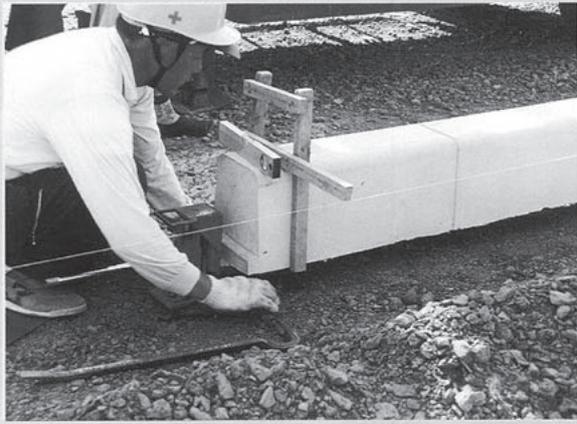
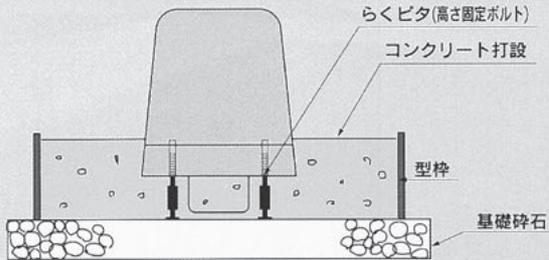
大型階段ブロック

◆施工断面図◆

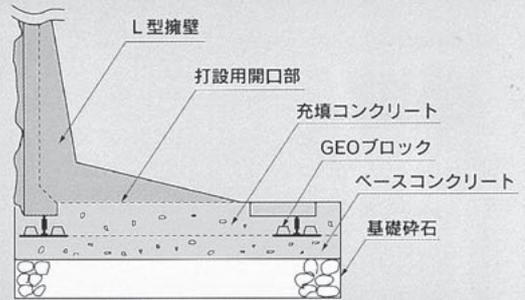


サンククリア工法を応用した改良・関連製品施工事例

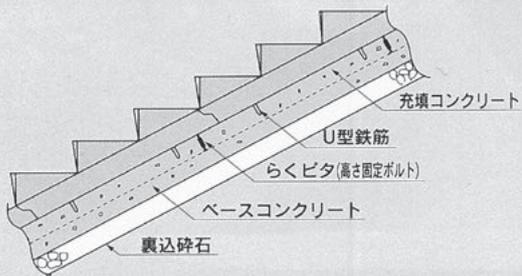
歩車道境界ブロック



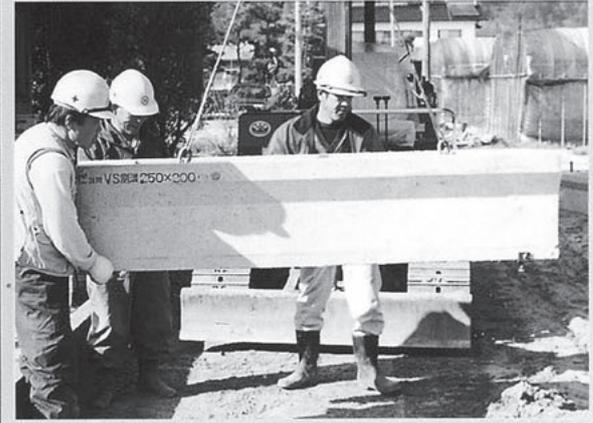
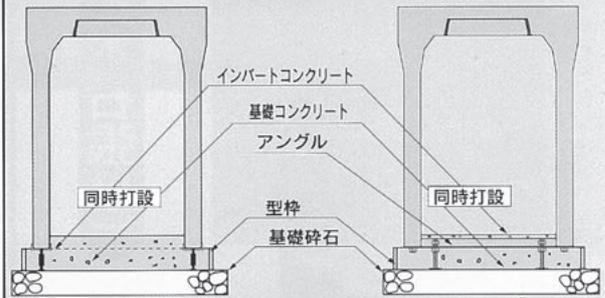
GEO.BLOシステム



階段ブロック



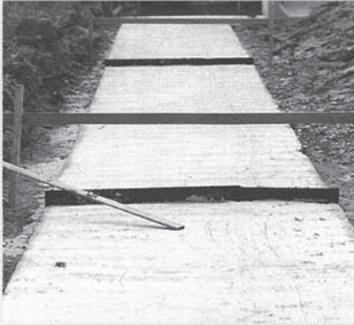
自由勾配側溝



施工工程(例:L型擁壁)

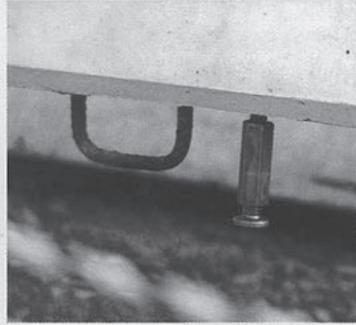
① ベースコンクリートの打設

床掘・整形後、ベースコンクリートを打設した方が施工性が良くなります。



② らくピタ(高さ固定ボルト)の取付

製品底面のインサートに全ネジボルトを一杯にねじ込んでください。予め製品とベースコンクリートとの間を測定し高さを調整しておくとし工が容易です。



③ 製品の据付・高さ調整

製品を所定の位置へ設置後ツメ付ジャッキをセットし計画高さまで調整します。この時、製品の落下等による挟まれ事故防止の為、角材等を製品の下へ入れてください。



④ らくピタ(高さ固定ボルト)の引き出し

一杯にねじ込んだ全ネジボルトの平頭ボルト(下側)を手で固定し、ターンバックル式高ナットを右に回し高さの調整を行なってください。その後、ツメ付ジャッキ及び角材等を撤去してください。



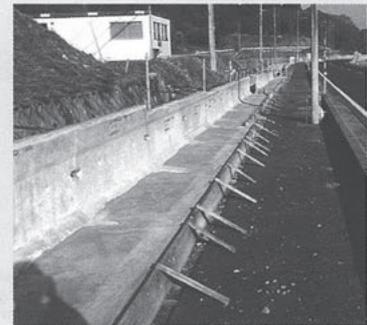
⑤ コンクリート打設

型枠設置後充填コンクリートを打設してください。充填は棒バイブレーター等で締め固めを十分行なってください。



⑥ 施工完了

コンクリートの養生後埋め戻しを行なってください。



〈施工に当たっての注意事項〉

1. 製品に埋め込まれたインサートに、らくピタを一杯にねじ込んでください。(ネジを均等に引き出す為)その後平頭ボルトを手で固定し、ターンバックル式高ナットを右に回し長さの調整を行なってください。
2. 転倒事故防止の為、らくピタの製品への取付は施工時に行なってください。
3. 製品を設置する時、らくピタ設置面とベースコンクリートが平行になるようゆっくり下げてください。
4. 製品重量が、らくピタに均等にかかるようにしてください。
5. 次のような場合は、らくピタの下にライナープレート(鉄板)を敷いてください。
(ベースが碎石の時、ベースコンクリート又は、基礎コンクリートが薄い時、らくピタの調整幅が大きい時等)